

私立大学図書館協会 2021年度 第2回 西地区部会役員会 議事要録

1. 日時：2022年3月4日（金）10：00～11：27
2. 場所：Web会議（Zoom）
3. 出席：9校24名

（敬称略）

役員名称	大学名	議決権	職名	氏名
監事校	佛教大学	○	館長	藤井 透
			部長	森 智女
			課長	神藤 静香
東海地区理事校	愛知工業大学	○	館長	村瀬 洋
			参事	加藤 直美
京都地区理事校	近畿大学農学部	○	職員	近藤 明子
阪神地区理事校	四天王寺大学	○	課長	永原 英博
			主任	米谷 明
中国・四国地区理事校	川崎医療福祉大学	○	図書館長	波川 京子
			係長	細川 芳美
			副主任	杉本 美佳
九州地区理事校	福岡工業大学	○	図書館長	木室 義彦
			事務部長	中島 良二
			司書	河野 真奈美
次年度総会当番校	同志社女子大学	/	課長	星野 勝一
			係長	田淵 英孝
次年度研究会当番校	沖縄国際大学	/	図書館長	上江洲 純子
			課長	當銘 弘道
			次年度図書館長	山口 真也
			次年度課長	富里 珠美
部会長校	松山大学	○	図書館長	中村 雅人
			次長	高岡 秀典
			事務長	児島 理恵
			事務長	山内 弘一

議事進行は、西地区部会長校の中村雅人館長（松山大学図書館）が担当した。
 議事に先立ち、Web会議システム（Zoom）の接続確認を兼ねて出席確認を行った。
 全ての役員校の出席があり、役員会が成立している旨が告げられ、議事に入った。

I. 報告事項

1. 2021年度西地区部会会務報告

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p.2～5）に基づき報告があった。

なお、(1)の③2021年度脱退届出校について、2022年2月末までの受理は資料のとおり1校であるが、京都地区所属の1校が脱退手続き中であるため、II. 協議事項の1.のうち2022年度西地区部会予算(案)には反映し、2022年度加盟予定校数を252校で計上していることが補足説明された。

2. 2021年度予算執行状況報告

西地区部会長校 松山大学（児島）より、配付資料（p.6）に基づき報告があった。

収入の部においては、預金利息が3月14日に発生する予定であること、支出の部においては2020年度と同様コロナ禍に対応した方式で活動を行ったため、支出が控えられ、その結果、次年度繰越金が増加していることが説明された。また3月までの部会活動費の執行がありえるため、予算執行見込み額であるとの説明があった。

3. 2021年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告

東海地区：東海地区協議会理事校 愛知工業大学（加藤）より、資料（p.7～10）に基づき、報告があった。

京都地区：京都地区協議会理事校 近畿大学農学部（近藤）より、資料（p.10～13）に基づき、報告があった。

なお、2023年度の実現を目指して「協議会を年2回から1回に」「研究会を年2回から1回以上に」それぞれ減じる決定がなされたこと、一部の館が加盟している「大学図書館近畿イニシアティブ」が2023年8月をもって解散することが決定したことが報告された。

阪神地区：阪神地区協議会理事校 四天王寺大学（米谷）より、資料（p.13～15）に基づき、報告があった。

中国・四国地区：中国・四国地区協議会理事校 川崎医療福祉大学（細川）より、資料（p.15～17）に基づき、報告があった。

九州地区：九州地区協議会理事校 福岡工業大学（中島）より、資料（p.17～21）に基づき、報告があった。

4. 2021年度私立大学図書館協会会務報告

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p.22～41）に基づき、報告があった。

II. 協議事項

1. 2022年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、2022年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について、配付資料（p.42～43）に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 2022 年度予算の暫定執行について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、標記の件について配付資料（p. 43）に基づき以下の提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2022 年度予算が承認されるのは、2022 年 6 月 17 日（金）～6 月 23 日（木）にメール会議にて開催される西地区部会総会においてである。よって、2022 年 4 月 1 日以降 6 月 23 日までの期間における部会活動は、前年度（2021 年度）予算額の範囲内で暫定予算として執行する。なお、この件については、文書にて西地区部会長校より、西地区加盟館に通知される。

3. 2022 年度西地区部会総会開催概要（案）について

西地区部会長校 松山大学（児島）および次年度総会当番校 同志社女子大学（星野）より、配付資料（p. 44）に基づき提案があった。

「総会はメール会議（資料メール配信・書面審議によるオンライン回答）で実施。オンラインフォームへの回答送信をもって出席と見做す。日程は資料のとおり。加盟館からの協議事項および承合事項の提案締切は 5 月上旬を予定しており、提案があった場合はその採否を役員校で諮り、採用された承合事項についての取りまとめは従前どおり提案校が行い、回答集は総会資料送信時にあわせて送信する」ほか開催概要の説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

4. 2022 年度西地区部会研究会開催概要（案）について

次年度研究会当番校 沖縄国際大学（上江洲）より、配付資料（p. 45）に基づき提案があった。

「研究会はメインテーマを『大学図書館×SDGs～「誰ひとり取り残さない」大学図書館の実現へ向けて～』として、Zoom ウェビナー形式によるオンライン開催。補助的に YouTube Live でも配信し、後日、研究発表のオンデマンド配信（YouTube の限定公開）を行う。研究発表 3 件を予定している。事前申込が必要。」ほか開催概要の説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

5. 国際図書館協力委員会委員校の選出方法(申合せ)について

標記の申合せについて、西地区部会長校 松山大学（児島）より、配付資料（p. 46～47）に基づき以下の提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

西地区から選出する 3 大学の選出ルールについて、「西地区会長校・部会長校ローテーション」を「西地区部会長校」と改める。この変更は、2021 年度第 2 回東西合同役員会(本日 2022 年 3 月 4 日午後開催)へ上程し、2022 年度第 1 回常任幹事会(同年 4 月 8 日開催)の審議・承認を経て改正となる。

なお、「京都・阪神地区ローテーション」について、次のとおり再確認された。ローテーションの順は、原則 関西学院大学→関西大学→同志社大学→立命館大学 とし、協会内役務の重複、委員長役務を考慮し、調整する。また、その調整方法については、該当校による合議とする。

6. 西地区部会の組織・活動のスリム化に向けて

標記の件について、西地区部会長校 兼 西地区部会スリム化検討委員会委員長校 松山大学（児島）から配布資料（p. 48～50）により、2021年6月部会総会で承認されている①西地区全体での輪番制の見直し②地区活動を2年間で縮小化、という方針のもとスリム化に向けて、前述①の取り掛かりとして、まず部会長校の輪番制を見直すこととし、以下の2つの提案が承認された。

【提案1】その準備として「部会総会をメール会議とし、資料冊子は作成しない」ことを付帯条件とし「部会総会当番校を無くす(時期は未定、近い将来)」

【提案2】部会長校の輪番制の対象校の基準について、「収容定員数^{※1}を基準とし、専任職員数を考慮する」※1 西地区部会スリム化検討委員会の基礎資料としての調査結果（基準日2021年4月1日、2021年5月調査実施）に基づく、収容定員数
ただし、具体的な基準については、スリム化検討委員会および本役員会においても選択肢を挙げ協議を重ねたが、多数決では決めかねたため、継続審議とした。

一方、地区理事校の負担軽減に直結する地区活動の見直しは、地区協議会における協議で随時進めていくことの再確認がなされた。

また、スリム化検討の進捗状況のまとめと今後のスケジュールの予定も再確認された。

Ⅲ. 承合事項 なし

Ⅳ. 確認事項

1. 2022・2023年度西地区部会役員校について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 51）に基づき確認された。

2. 2022・2023年度西地区部会当番校について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 51）に基づき確認された。

3. 2022年度西地区部会関連行事日程について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 52）に基づき確認された。

以 上